

算数科 小学校 4年

単元名 がい数とその計算
啓林館 わくわく算数4下

単元の流れ（全7時間）

【第1時】
主な学習内容
・およその数で表す意味を理解する。
・四捨五入の決まりを確かめ合い、ある位までの概数で表す。

【第2時】
主な学習内容
府や市の人口を示し、上から1ケタや2ケタの概数にする仕方を理解する。

【第3時】
主な学習内容
四捨五入の意味を考えて、概数の表す範囲を考える。（数直線の活用）

【第4時】
主な学習内容
棒グラフに表すという目的に応じて、数量を何ケタにすればいいか適切に判断し、概数を活用するよさについて考える。

【第5時】
主な学習内容
以上、以下、未満の意味と用語について理解し、意味に合った概数の範囲を考える。

【第6時】（本時）
主な学習内容
具体的な買い物の場面に即して概数を活用して、条件に合う買い物ができるように考える。

「活用」の力育成のために【第6時】
(ポイント②③④)

【第7時】
主な学習内容
評価問題に取り組む。

単元目標

概数の意味を理解し、四捨五入によって概数を求める。

単元構成の意図

本単元は、概数の意味を知り、四捨五入によって概数を求めることができるようにすることをねらいとしている。

概数にする方法として、目的によって「四捨五入」「切り捨て」「切り上げ」が用いられる。

本単元では、まずおよその数に関する児童の学習経験や日常生活においての認識を掘り起こしながら、概数に表すことの便利さを感じさせながらその目的をつかませ、概数の表し方を理解させる。さらにそれに合う概数の範囲をとらえさせる。

概数を実際に活用する場面として、電化製品の広告を利用し、条件に合う買い物を想定して、概数を使って見積もりをさせる学習活動を位置付けた。概数を用いると大きさがとらえやすくなることや、見通しが立てやすくなること等に気付くことができ、概数のよさに気付かせたい。

「活用」の力を育てるポイント

- ①既習事項を生かして、概数の活用について試行錯誤しながら自分の考えが持てるようにする。
- ②友達との考え方の共通点や相違点に目を向けながら、条件に合うように考えさせるようにする。
- ③広告等を利用した学習を通して、日常生活の様々な場面で概数が活用されていることに気付かせる。
- ④概数にする目的を持ち、何の位までの概数にすればよいかを適切に判断させるとともに概数のよさを実感させる。

本時の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME